

平成23年度事業報告書

2012年3月11日

特定非営利活動法人 美術保存修復センター横浜

I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜は、組織運営の定着を計るとともに、美術品修復に関わる業務を広く知っていただく為に次の様な事業を実施した。

本法人の定款、第5条の①修復技術者養成事業、②美術品の修復に対する理解を深める事業、③美術品を後世に残すための活動事業として、「修復技術者養成事業」、「海外における修復研修の企画と実施事業」、「絵画修復展事業」を実施した。「公共施設の持つ美術品の修復を行う事業」については、現在公共機関、施設が持つ美術品に関して話し合いを始めた。

II. 事業の実施に関する事項

1. 修復技術者養成事業

ア) 修復技術者養成事業

①事業内容

絵画修復の技術者を育成する事を目的として、週末の土曜日、日曜日に修復技術を学ぼうとするものに対して教室を開催。

②活動内容

活動日

本年10月から、以下の通り土曜日4回/月、日曜4回/月教室を開催した。

10月度：10月1日/2日、8日/9日、15日/16日、22日/23日

11月度：10月29日/30日、11月4日/5日、11日/12日、18日/19日

12月度：11月25日/26日、12月2日/3日、9日/10日、16日/17日

場所

何れも、NPO事務所、青木絵画修復工房の工房を借用して実施した。

参加者

延べ、127名である。

内容

参加者の技術習得レベルに合わせて、保存修復技術、美的修復技術、額加工/修復技術、金箔技術などである。

③費用 354,000円

イ) 海外における修復研修の企画と実施事業

①事業内容

「横浜絵画修復教室」へ通う生徒を中心にして、更に高度の絵画修復技術をイタリアの絵画修復工房で学ぶ研修を実施した。

②活動内容

活動日

2011年10月31日から11月11日までの2週間

場所

イタリア、フィレンツェ、ダンブラ工房。

講師ガブリエラ・フォルクッチ:パラッツォスピネリ美術修復研究所教授)

参加者

2週間の参加者：4名、1週間の参加者：2名。計6名が参加。

内容

日本では触れる機会の少ないイタリアの古典絵画を教材として修復の実習を行った。又、フィレンツェの他の修復工房見学、修復学校の見学を実施。

③費用 1,005,467円

2) 美術品の修復に対する理解を深める事業

ア) 美術品修復に関する研修会の開催事業

本年度の開催はない。

イ) 絵画修復展事業

①事業内容

横浜絵画修復教室で修復された作品の展示、絵画修復工程の解説や修復に必要な道具を展示して、広く絵画修復を理解していただく。

②活動内容

活動日

2011年11月28日から12月3日までの6日間

場所

横浜市民ギャラリー

見学者

延べ 986名の見学者があった。

内容

横浜市（文化観光局）、神奈川新聞、テレビ神奈川(TVK)の後援を得て、横浜市民ギャラリー2階展示場に、37点の絵画修復作品、3点の模写作品の展示を行った。

③費用 135,634円

ウ) 美術品修復の相談窓口設置に関する事業

本年度の実績無し。

3) 美術品を後世に残すための活動事業

ア) 公共施設の持つ美術品の修復を行う事業

横浜市内のいくつかの美術館に対して、NPO 活動主旨を説明し、美術館に候補となる修復作品選択検討を依頼した。

イ) 美術品修復の受託事業

今期の活動なし。

その他の事業：定款に規程なし。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

1) 臨時総会

2011年10月23日 18時から19時

議題 平成23年度の入会金及び年会費に関して